

未来を拓く科学的知見を創造し、 世界のさきがけとなる人材の育成

1 研究開発課題の目的・目標

目的：課題研究などの探究活動や地域の教育資産の活用をとおして、「未来を拓く科学的知見を創造し、世界のさきがけとなる人材の育成」を目指し、日本の理数教育のモデルとなるカリキュラム開発（さきがけプロジェクト）を行う。

目標：【基盤教育】（文理の別なく次世代科学教育を支える人材の育成）

- ①自然の事物現象を科学的、数学的に考察することができる。
- ②様々な情報に対して、客観的事実を元に批判的思考ができる。

【専門教育】

- ③思考力・判断力・表現力が身につく。
- ④自ら課題を設定し、問題解決ができる。

【グローバルリーダー教育】（GL教育）

- ⑤グローバルなものの見方や考え方が身につく。
- ⑥リーダー性が備わる。

《具体の目標》生徒の能力を培い、次に掲げる内容を実現する。

- ・国際高校生科学研究発表会 in MITO の開催（生徒による企画・運営）
- ・科学オリンピック国内本戦出場
- ・学会発表及び国際的な学会誌への論文投稿

さきがけプロジェクト



図 3つの教育

2 研究の概要

【取り組み内容】Plan

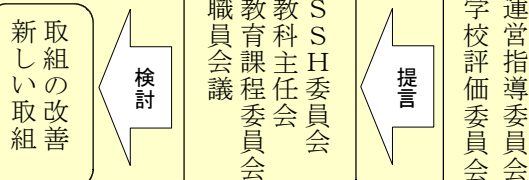
- ①基盤教育
学校設定科目、サイエンスツアー、講演会
- ②専門教育
課題研究、課題研究基礎実験、ものづくり
- ③グローバルリーダー教育（GL教育）
海外研修、高校生科学研究発表会、サイエンスフェ

【取り組み】Do

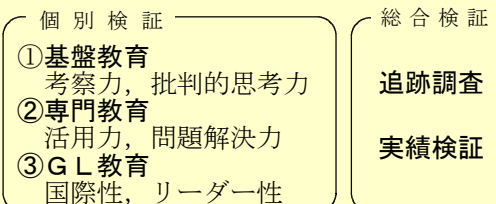
- ①基盤教育
1学年、普通科2,3年文系
- ②専門教育
理数科2,3年、科学系部活動、希望者
- ③GL教育
理数科2,3年、科学系部活動、希望者

PDCAサイクル

【改善】Act



【検証評価】Check



【成果の普及】国際高校生科学研究発表会 in MITO等の開催、理数教育のスタンダードモデルの提供
いばらきサイエンスコンソーシアムの活用、各種情報メディアによる情報発信

Sakigake Project

